

梅之木通信

【縄文住居をつくる会】

第13号 2019.11.18 発行

やっと、投稿特集号の発行です

縄文に婚活イベントとカップル誕生まで重なって、なんとファンタスティックな展開でしょうか……ステキな写真の通信、ありがとうございます！

縄文の家建設は、生活の場、暮らしの場の創造ですから、そこで、カップルが生まれてくださるとは、最高のプレゼントですね！ 現代の縄文人の誕生、嬉しいですね！！

全く以て、参加できてません。。。。

基本は体力不足です。なんとか努力せねばならんのですが……

河原での石拾いと藤蔓採取で、止まってしまっています。

加えて、9月は大分、先月は中国湖南省長沙、今週は明日後日（11月11日メール受信）からソウルです。12月は台中と、東アジアを学会やシゴトで回っています。

東アジア単位でものを考えること、そして、東アジア文化の特質をあぶり出すことが今の課題です。

そのうち、年内終了までには、参加したいという希望を持っています。

大友昌子

縄文人に想いを馳せて

会員 北村 修

久しぶりに春の総会に出席、新しい同好会ができるような話、それが後で正式に認められた縄文式竪穴住居復元プロジェクト。説明会に妻と参加、世話人のお話を聞きすぐ入会を決める。5000年前にこの明野の地に縄文人が集落を作っていたとは……、昔何回も明野に来ていたのだ。ワクワクするな、5000年前の縄文人の住居を復元するとは！！

石斧をつくるための石拾いには都合ができず残念、皆さんの拾い集めてきた石をいただいてさっそく私も石斧を作り始める、だがそう簡単に斧の形になるはずもなく、監督の熊さんの石斧で大木の伐採に参加、こんな道具で本当にこの大木が切倒せるの??と疑問の顔 顔、もちろん私もそうだったが……。

いや一伐り倒せたのです！！最初の日は9人ほどで午前中に一本でしたが、だんだんコツをつかみ クマさんと対等に切倒せるメンバーも出てきた。私はすぐ腰が痛くなりわずかに参加、妻も石斧で挑戦した。でも大木が伐れていくのがわかる。楽しい、楽しい。

1か月もたつとチームでわずか1時間ほどで大木を切倒せるほどの腕に上達、クマさんの厳しくも優しい指導があったからこそ。クマさんありがとうございます。

いよいよ 竪穴住居の建設だー 楽しみ楽しみ ワイワイがやがやと話も弾ませながら今日も作業。

◆最後は11月16日『クリの植樹と縄文ジビエ体験会』に参加された水谷敬子さんの特派員報告です。

先着10名という梅之木遺跡企画、クリの苗木の植樹はともかくクリ、クルミ、ツルマメ、ヤブツル、アズキ、鹿肉などを土器、石器で調理とあっては見逃せない！と思い早速申し込みをして当日朝9時に梅之木遺跡公園まで出かけました。ところが佐野さんと職員と思しき人以外人影が無く不安がいっぱいになりつつ挨拶をしたら、何と一般参加者は私一人（しかも倶楽部の縄文住宅を作る会会員でちょっと関係者？）他に苗木をそのクリから発芽させ一年育ててくれた植木屋さん、いつものボランティア登録者、職員の方々と縄文人さんと熊さんの10名でこの企画は運びました。

縄文村は広場の周りに家屋、その周りにマメなどの畑スペース、その外に木の実を採取できる林という構造になっていて、その林を作る為に今回クリの植樹をするそうです。まだ1年しかたっていない苗木なので根の張りが弱くそれでも1m円内に3本ずつ植え、雑草と見分けがつかないのでピンクリボンの棒をすぐ脇に挿していきます。皆さんもピンクリボンの近くを歩く時は注意して下さいね。うまくつかなかったら来年は2年目の苗木を植え直すとの事。うまく育って大きくなると10年後くらいにはその栗の実を食べられるというのでそれまでがんばって梅之木とお付き合いを続けなければ！

そんなことをしている間に縄文住宅の中では縄文ジビエ鍋が煮えてきました。

ここからはその日倶楽部の縄文住宅を作る会で作業した面々もお客様になり豪華なお昼ごはんとなりました。ブロックのまま土器の中で煮込んだ鹿肉を取り出し黒曜石ナイフで切り分けます。ヤブマメとは大豆の原種でカラスノエンドウの豆と同じくらいの小ささで生でも結構いける味だとか。それら縄文食材ときのこと鹿肉のスープは味をつけなくても旨味があっておいしく頂けます。

以外と縄文人は今より豊かな食生活をしていたのではないのでしょうか。

続いて、イワナやヤマメの串焼き・ゆり根に

山芋・鹿肉のバーベキュー・植物食材だけを

土器で煮て蜂蜜をかけたスイーツ・は縄文人さん

特製野草茶、と盆と正月が一度に来たような御馳走でした。



その間に佐野さんや他の方々もみんなある種“縄文オタク”と呼びたいような方ばかりなのでお話を聞いているだけでも楽しい時間が過ぎます。いずれは全ての食材ばかりでなく道具も再現して完璧縄文スタイルの食事会をするのが夢、と言う事で私も土器や木の食器作りなどの企画が有ったら是非参加したいなと思いました。

縄文カフェへようこそ！とばかりに通りすがりの見学者などを家の中にお招きして接待をしつつ、縄文人さんは超過疎地帯のこの村に活気をもたらすためにいつでも遊びに来て欲しいと呟いていました。

縄文住宅を作る会も出来上がったからここからがスタートです。

梅之木遺跡公園に行って縄文風の時間を過ごせば大きな宇宙の中の一部になった自分を感じ心がきれいになる、そんな気がします。

長くなりましたが、作業に参加せず一人楽しんでしまった感想でした！

★年内は12月21日まで作業を行い、木舞・天窓棟木組みまで完了させる予定ですのでご参加ください。

★年明けの1月・2月は寒さでけがをしないよう作業は休みとし、3月の屋根ふきから再開の予定です。